

# サービスカタログ及びモデル仕様書を活用して 調達するための手引き

2024/1/16 第1版公開

2024/3/22 第2版公開

## 本資料の背景と概要

- デジタル庁では、デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムの横展開を加速化するため、どの自治体でも活用可能な、**デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカタログ**を取り纏めた
- 第1版(2023/8/3公開)では、デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の主にTYPE2/3/マイナンバーカード利用横展開事例創出型採択事業のうち、**マイナンバーカードを利活用するとされている「サービス／システム」**を対象としてデジタル庁において事業者等に調査を行い、回答があったものを掲載した
- 第2版(2023/12/14公開)では、自治体における調達の変化する支援のため、**推奨機能等を抽出したモデル仕様書**を作成し公表するとともに、デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）において採択実績があること、令和6年4月時点でシステム等を開発済みであること、及び自治体において一定以上の導入実績があることなどの要件の下、**サービス類型ごとにモデル仕様書で示す必須機能を満たすサービス／システム（以下「推奨機能を有するサービス／システム」という。）**に★マークを付けて追加掲載した
- 本資料(**サービスカタログ及びモデル仕様書**を活用して調達するための手引き)は、これからデジ田交付金を活用しようとしている自治体向けに、上記**「デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカタログ」**及び**「モデル仕様書」**の具体的な利用方法等について解説した資料である

# 目次

- デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカタログの活用方法
- モデル仕様書（調達仕様書・要件一覧）の活用方法
- その他（モデル仕様書のダウンロード及び問い合わせ方法）

# 目次

- **デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカタログの活用方法**
- モデル仕様書（調達仕様書・要件一覧）の活用方法
- その他（モデル仕様書のダウンロード及び問い合わせ方法）

# 2023年12月14日に、サービスカタログ(第2版)を公開しました

カタログ

モデル仕様書

## サービスカタログイメージ

### デジタル実装の優良事例を支えるサービス/システムのカタログ (第2版)

デジタル庁

第1版では、デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の主にTYPE2/3/マイナンバーカード利用機展開事例創出型採択事業のうち、マイナンバーカードを利活用するとされている「サービス/システム」を対象としてデジタル庁において事業者等に調査を行い、回答があったものを掲載しました。

第2版では、デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）において採択事業数が多いなどの観点で対象サービス類型を選定し推奨機能を整理の上、令和6年4月時点でシステム等を開発済みであり、自治体において一定以上の導入実績があるなどの要件の下に、各サービス類型を代表し「推奨機能を有するサービス/システム」について★マークを付けて追加掲載しています。また、「推奨機能を有するサービス/システム」と同等以上の機能を有する調査を支援するため、推奨機能等を抽出したモデル仕様書を作成し公表します。

本カタログでは、デジタル庁において調査し、回答を得られたものを掲載しています。掲載内容については一部、開発予定の内容等も含まれることから、市場動向・効果・実績等を踏まえつつ今後、改定していく予定です。なお、このサービスカタログの策定・改訂や今後の展開に当たっては、関係省庁との連携を密に行うこととしています。

### サービス検索

フリーワードで検索

### サービス分類一覧

公共交通 医療・健康・子育て 教育 防災  
市民ポータル 施設利活用 図書館 選挙・

### シティMobi

株式会社建設技術研究所

★モデル仕様書あり (AIオンデマンド交通システム)

#### サービス/システム

#### サービス概要

スマホアプリで乗車予約と決済等が可能なサービス。配車システムによる自動配車計画立案など利便性・効率性の高いデマンド交通を支援。

#### サービスの特性/優位性

スマホアプリでデマンド交通の予約が可能。マイナンバーカード連携によりアカウント作成時の負荷軽減と割引等を実施。

#### サービスの機能

- 利用者向け：スマホ（LINE連携）・Webからデマンド交通予約と電子決済、利用者からの予約受付
- オペレーター向け：CTI機能で電話予約受付対応、運行状況のリアルタイム管理、利用者・ドライバーへのメッセージ送信等が可能
- ドライバー向け：車載器端末にて送迎順序・走行ルート等を案内
- 管理者向け：利用者情報・ランドマーク情報・車両情報等を登

#### マイナンバーカード利用シーン

#### マイナンバーカード利用シーン

デマンド交通のスマホアプリにおいて、アカウント作成時等にマイナンバーカードをスマートフォンアプリで読み込み、公的個人認証を行う。

#### マイナンバーカードの活用方式

電子証明書	署名用電子証明書	対応
	利用者証明用電子証明書（PINあり）	非対応
	利用者証明用電子証明書（PINなし）	非対応
空き領域	スマホ用電子証明書搭載サービス	非対応
		非対応
その他	券面事項入力補助AP	非対応
	券面確認AP	非対応
	その他	非対応

- 自治体職員は本サービスカタログを通じて、**デジタル実装の優良事例を支えるサービス/システム**に関する情報収集が可能
- デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）において採択実績があること、令和6年4月時点でシステム等を開発済みであること、及び自治体において一定以上の導入実績があることなどの要件の下、**モデル仕様書(詳細はP9～)で示す必須機能を満たすサービス/システムには★マークを付与**

# サービスの検索に際しては、「サービス検索（フリーワード検索）」又は「サービス分類一覧」より、サービスを絞り込むことができます

カタログ

モデル仕様書

## サービスの検索方法

### フリーワードで探す

デジタル実装の優良事例を支える サービス/システムのカタログ（第2版）

デジタル庁

第1版では、デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）の主にTYPE2/3/マイナンバーカード利用横断開事例創出型採択事業のうち、マイナンバーカードを活用するとされている「サービス/システム」を対象としてデジタル庁において事業者等に調査を行い、回答があったものを掲載しました。

第2版では、デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）において採択事業数が多いなどの観点で対象サービス類型を決定し推奨機能を整理の上、令和6年4月時点でシステム等を開発済みであり、自治体において一定以上の導入実績があるなどの要件の下に、各サービス類型を代表し「推奨機能を有するサービス/システム」について★マークを付けて追加掲載しています。また、「推奨機能を有するサービス/システム」と同等以上の機能を有する関連を支援するため、推奨機能等を抽出したモデル仕様書を作成し公表します。本カタログでは、デジタル庁において調査し、回答を得られたものを掲載しています。掲載内容については一部、開発予定の内容等も含まれることから、市場動向・効果・実績等を踏まえつつ今後、改定していく予定です。なお、このサービスカタログの策定・改訂や今後の展開に当たっては、関係省庁との連携を密に行うこととしています。

サービス検索

検索欄

フリーワードで検索

- フリーワードでの検索機能を利用することで、ユーザーは**自分の興味や必要に応じて任意のキーワードやフレーズ**を入力して情報を検索することが可能
- 例えば、特定の商品名やサービス類型（教育、防災、医療等）、関連ワード等による検索が可能

### サービス分類から探す

サービス分類一覧

公共交通 医療・健康・子育て 教育 防災 コミュニティサービス 窓口DX 行かない窓口・電子申請

市民ポータル 施設利用 図書館 選挙・投票所受付 その他 共通基盤・汎用ツール・モジュール

データ連携基盤

各サービスの位置づけ（サービスマップ）

予約 (準備中) 配車・運行管理 (準備中) 決済・割引 (準備中)

自動運転バス(乗車予約) 自動運転バスの配車・運行管理 決済・割引

交通モードを併用した移動サービス など

モビリティ統合連携

路線バスのデジタルフォーパス導入への段階的移行を促す配車サービス連携したMaaS

路線バスと連携したモビリティサービス など

AIを活用した効率的な配車により、利便性を向上し、リアルタイムに最適な配車を行うAIオンデマンド交通の予約、配車、運行管理 など

交通機関のデジタル化（事業者の枠組みを超えた交通情報の公開・共有）

・GPS等を用いて取得した路線バス位置情報のサイネージインターネット上での情報提供

・バス事業者の運行管理データの公開・共有 など

- 既に調べたいサービスの分類が明確であれば、「サービス分類一覧」から分類名をクリックすると、**該当するサービスマップが表示**
- このサービスマップは**各類型のサービスを複数の切り口(例：時系列等)**で一覧化したものであり、具体的に調達したいサービスのイメージを具体化することが可能 ※ただし、一部の類型によっては、サービスマップが存在しないものもある
- サービスマップの下部には、代表的なサービス名が一覧で表示

# 各サービスの詳細ページには、サービス概要や特徴、ネットワーク、導入実績、問い合わせ先等について一覧で確認することができます

カタログ

モデル仕様書

## 掲載情報(1/2)

大項目	中項目
サービス/システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス概要</li> <li>サービスの特徴/優位性</li> <li>サービスの機能</li> <li>サービス分類</li> <li>タグ</li> <li>サービス購入者</li> <li>サービスが接続するネットワーク・セグメント</li> <li>自治体保有データとの接続有無</li> <li>自治体保有データとの接続内容</li> <li>安心安全の設計留意点</li> <li>サービス紹介サイト</li> <li>問い合わせ先</li> </ul>
マイナンバーカード利用シーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナンバーカード活用方式</li> <li>共通基盤の利用</li> </ul>
導入手続き	<ul style="list-style-type: none"> <li>価格</li> <li>無料トライアルの有無</li> <li>導入にかかる所要時間</li> <li>サポート体制</li> </ul>

## 掲載情報(2/2)

大項目	中項目
導入実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入自治体数</li> <li>導入自治体名</li> <li>その他（表彰実績等）</li> </ul>
企業情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者名</li> <li>住所</li> <li>設立年</li> <li>代表者</li> <li>セキュリティ認証</li> <li>企業情報のURL</li> </ul>

## 各サービスの詳細ページ

サービス/システム	マイナンバーカード利用シーン
サービス概要	サービス概要
サービスの特性・優位性	マイナンバーカードの活用方式
サービスの価格	署名用電子証明書
導入条件	利用権限用電子証明書 (伊勢のみ)
導入期間	電子証明書
導入費用	利用権限用電子証明書 (伊勢のみ)
導入後のサポート	スマネ用電子証明書搭載サービス
導入後のサポート	空き領域
導入後のサポート	標準準拠入力欄API
導入後のサポート	標準準拠API
導入後のサポート	その他

上記の掲載情報を一覧で確認することが可能

# 目次

- デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカタログの活用方法
- **モデル仕様書（調達仕様書・要件一覧）の活用方法**
- その他（モデル仕様書のダウンロード及び問い合わせ方法）



# 自治体における調達のための更なる支援のため、推奨機能等を抽出したモデル仕様書を公表しました。本モデル仕様書は、調達仕様書と要件一覧の2つから構成されています

カタログ

モデル仕様書

## モデル仕様書の全体イメージ

### モデル仕様書

#### 調達仕様書

調達の目的や体制・スケジュールなど、調達仕様書に書くべき必要最低限の項目及び記載例を記載

※基本事項  
この仕様書の目的は、自治体の業務（以下「業務」という。）に、〇〇業務の  
目的を達成するために、当該業務のシステムを構築することを目的とし、その  
構築に必要な要件を定めることである。

※主要機能  
〇〇業務のシステム構築に必要な機能を、以下の通り定義する。

※主要機能の概要  
〇〇業務のシステム構築に必要な機能を、以下の通り定義する。

※主要機能の詳細  
〇〇業務のシステム構築に必要な機能を、以下の通り定義する。

項目	必須	選択
〇〇業務のシステム構築に必要な機能	〇	〇
〇〇業務のシステム構築に必要な機能	〇	〇
〇〇業務のシステム構築に必要な機能	〇	〇
〇〇業務のシステム構築に必要な機能	〇	〇

※主要機能の概要  
〇〇業務のシステム構築に必要な機能を、以下の通り定義する。

#### 要件一覧

類型毎の概要や必要な機能要件、非機能要件を記載

モデル仕様書（オンライン申請）  
本仕様書は、自治体の業務（以下「業務」という。）に、〇〇業務の目的を達成するために、当該業務のシステムを構築することを目的とし、その構築に必要な要件を定めることである。

項目	必須	選択
〇〇業務のシステム構築に必要な機能	〇	〇
〇〇業務のシステム構築に必要な機能	〇	〇
〇〇業務のシステム構築に必要な機能	〇	〇
〇〇業務のシステム構築に必要な機能	〇	〇



- 過去にシステム調達経験が無い自治体職員であっても、サービスに必要な要件等があらかじめ定義されていることで、調達に係る負担を軽減することが目的。限られた人的リソースのなか、サービス実装や活用に注力することが可能
- 今年度は計13の類型を対象に、モデル仕様書を作成
- 「要件一覧」の機能要件における必須機能（※ただし、選択必須は自治体様で任意に削除可能。）を全て満たしたサービスシステムを調達する場合は、デジ田交付金の申請において加点措置がなされる

# モデル仕様書の対象となる類型は、デジ田交付金（実装タイプ）において採択事業数が多い等の観点から、ニーズが高いと思われる13類型を選定しました

カタログ

モデル仕様書

## モデル仕様書の対象類型（1/3）

サービス分類	サービス類型	概要
 公共交通	AIオンデマンド交通システム	ダイヤが固定ではなく、乗客のリクエストに応じ、AIがリアルタイムでルート等を決定し、運行するサービス
 医療・健康・子育て	母子健康手帳アプリ	妊産婦と子どもの健康データの記録や体重・発育グラフの表示、予防接種のスケジュール管理、出産・育児に関するアドバイス等を行うシステム
 医療・健康・子育て	健康手帳アプリ	健康情報の記録、ポイントの付与、家族・関係者との健康情報の共有等ができるシステム
 医療・健康・子育て	オンライン診療	自宅、職場、医療機器等を搭載した車両等の遠隔から、医師の診療等をオンラインで受けることができるサービス
 医療・健康・子育て	保育所業務支援システム	入退室・勤怠時刻の管理、保護者との連絡、帳票書類の管理、請求管理機能などの機能を持つ保育所の業務支援システム

# モデル仕様書の対象となる類型は、デジ田交付金（実装タイプ）において採択事業数が多い等の観点から、ニーズが高いと思われる13類型を選定しました

カタログ

モデル仕様書

## モデル仕様書の対象類型（2/3）

サービス分類	サービス類型	概要
 教育	授業支援システム	特定の教科に依存せず、画面・ファイル等の共有・同時編集、論理的思考能力・プレゼン能力などを育てるための機能などを持つ学習・授業支援システム
 教育	AIドリル	AIにより小中学生の児童生徒個々に最適な問題を出題する5教科対応のデジタル学習教材
 コミュニティサービス	地域通貨・ポイント	地域マネー機能、地域ポイント機能、地域クーポン機能など加盟施設・行動による付与・決済が行え、データ分析により地域の活性化に利用できる地域通貨・ポイントシステム
 行かない窓口・電子申請	オンライン申請	自治体職員が様々なオンライン申請のための申請画面等を作成できるノーコード開発システムであり、住民は自宅等の遠隔から各種申請ができる
 市民ポータル	住民等向けポータル	住民等の利便性向上を企図したワンストップサービスへの入り口となる、情報ポータルサービスであり、住民は本ポータルを通じて様々な情報を取得・閲覧できる

# モデル仕様書の対象となる類型は、デジ田交付金（実装タイプ）において採択事業数が多い等の観点から、ニーズが高いと思われる13類型を選定しました

カタログ

モデル仕様書

## モデル仕様書の対象類型（3/3）

サービス分類	サービス類型	概要
 図書館	電子図書館	コンピュータ・データベースを利用したウェブサイト上の図書館であり、開館日や開館時間を気にせず、いつでもインターネットを通じて閲覧・貸出・返却ができるサービス
 防災	避難所運営システム	マイナンバーカードを活用した避難所受付、避難所管理等が可能であり、職員と避難者の双方にとって効率的かつ利便性の高い避難所運営システム
 その他	公開型GIS	GIS（地理情報システム）により、インフラ情報等を一元的かつリアルタイムで管理し、住民や事業者へ情報をオープン化するシステム

# モデル仕様書の「調達仕様書」では、調達の目的や体制・スケジュールなど、調達仕様書に書くべき必要最低限の項目及びそれぞれの記載例を示しています

カタログ

モデル仕様書

## モデル仕様書「調達仕様書」のイメージ

2 基本事項

オンライン申請システム提供業務仕様書（以下「本仕様書」という。）は、〇〇県〇〇市が、行政手続のオンライン化を目的として SaaS 型電子申請サービスを調達するにあたり、その仕様を定めたものである。

2.1 業務の名称

オンライン申請システム提供業務（以下「本業務」という。）

2.2 調達の背景・目的

令和2年12月25日に策定された「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」において、行政手続のオンライン化が重点取組事項とされたところである。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために、三密を回避する観点からも、来庁せずに手続ができる環境を整備する必要がある。加えて、参加団体の一部では業務改革の一環としてRPAの導入を進めているが、申請情報がデータ化されていない業務等があり、電子化の一層の推進が課題となっている。

このことから「住民に使われる・使いやすい簡易なオンライン申請サービス」をコンセプトとした利便性、安定性に富むサービスを提供できるオンライン申請システムを整備、運用し、行政サービスの向上、業務の効率化を推進することを目的とする。

2.3 システム化範囲

システム化範囲は、個人や企業から委託元に対する申請、届出その他の手続、委託元から個人や企業に対する許可等の通知、アンケート受付等を、インターネットやその他の情報通信（スマートフォン・携帯電話）の技術を用いて行う電子申請の仕組みの提供することである。

参考として、令和3年度から3年間で委託元が利用する申請件数等について以下のとおり想定する。

図表 1 想定される申請件数等

項目	想定件数（3年間）
システム利用件数	〇〇〇,〇〇〇件
手続担当者ID登録数	〇,〇〇〇件
登録様式数	〇〇,〇〇〇件
申請者登録数	〇〇,〇〇〇件

2.4 本業務の範囲

次の事項に係る役務の提供を行うこと。

- オンライン申請システム（以下「本システム」という。）の提供
- 本システムの運用保守

## 記載概要

### 記載項目

- ✓ 調達仕様書に記載すべき項目を掲載。必要に応じて各自治体で項目を追加することは可能

### 項目の例：

- ✓ 基本事項（調達の背景・目的、本業務の範囲等）
- ✓ 本調達の要件（契約期間、成果物等）
- ✓ 業務要件（非機能要件、保守運用要件等）
- ✓ その他（スケジュール、研修、等）

### 留意点

- ✓ あくまで記載項目毎の記載例であるため、その通りに記載する必要はなく、各自治体で独自に記載内容を修正・変更することが可能

# モデル仕様書の「要件一覧（機能要件）」では、類型毎の概要や必要な要件等を示しています

カタログ

モデル仕様書

## モデル仕様書「要件一覧（機能要件）」のイメージ

### 要件一覧（機能要件）の構成

### 記載概要

① モデル仕様書（オンライン申請）

■概要

② オンライン申請システムは、市民がいつでもどこでも行政手続きが可能で、システム上で迅速に行政処理可能なシステムです。このシステムではオンライン上で行政手続きが可能になるため、市民が行きを訪れる負担の解消、必要な手続きがわからないといった課題の解消などが期待されます。同時に、職員の処理業務の負担も軽減され、効率的かつスムーズな行政サービスが期待されます。

機能分類体系			要件定義	必須機能 ※1	今後拡張が望まれる機能 ※2	回答欄	
大項目	中項目	小項目	要件			事業者名	サービス名
■基本要件						対応可 否	備考 (判断に困るもの、オプション等で対応する場合など特記があれば可能な範囲で記載ください。)
共通事項	サービス提供環境	操作環境	利用者の操作機環境（PC、スマートフォン） 利用者の操作機環境（PC、スマートフォン）及び管理者側（管理システム・ドライバー）の操作機環境を指定する。 ・対応させる機種（PC/スマートフォン） ・対応OSとそのバージョン ・対応ブラウザとそのバージョン など	○			
		ネットワーク環境	サービスを提供するネットワーク環境及び通信経路の暗号化について自治体が希望する要件も記載する。提案する環境が自治体の希望と異なる場合は、その理由やネットワークセキュリティ面で問題ないことを示すこと。 例） 利用者側環境：インターネットで接続できること。 管理側環境：LG-WAN系もしくはインターネット系（自治体が指定するネットワーク）で動作すること。 インターネット上の通信経路においては暗号化を行うこと。 データ管理環境について自治体が希望する要件も記載する。提案する環境が自治体の希望と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。 例：アプリサービスの場合、デバイス内には情報は保存せず、サービス提供クラウド環境（データセンター内）でデータを保管すること。ただし、システムから検索履歴も利用用途にダウンロードした場合はこの限りではない。 (その他) ・権限管理は発注者が指示しない限り日本国内に保管されること。 ・運用系の権限管理は発注者が指定した場合を除き全て日本国内に保管されること。	○			
		データ管理		○	※選択必須		

③ ④ ⑤ ⑥

- ① **類型名：**  
対象となる類型名について記載（全13類型）
- ② **各類型の概要：**  
該当類型毎のサービスの目的や特徴について記載
- ③ **機能分類体系：**  
各機能の分類（大中小）について記載
- ④ **要件詳細：**  
各要件の詳細について記載
- ⑤ **機能選別：**  
各機能の適用判定（必須 or 今後拡張が望まれる機能）について記載  
※詳細は次項
- ⑥ **事業者解答欄：**  
事業者が応札等する際に、モデル仕様書を記入し、自治体が機能の実装可否を確認するための欄

# モデル仕様書の「要件一覧（非機能要件）」では、類型毎の概要や必要な要件等を示しています

## モデル仕様書「要件一覧（非機能要件）」のイメージ

### 要件一覧（非機能要件）の構成

### 記載概要

■非機能要件一覧(類型:オンライン申請)					【別紙2】
① 項番	② 大項目	③ 中項目	④ メトリクス(指標)	⑤ 要求目標等	⑥ 補足説明等
A.1.3.1	可用性	継続性	RPO(目標復旧地点)※(業務停止時)	平常時、業務停止を伴う障害が発生した際には、障害発生時点(日次バックアップアーカイブからの復旧)までのデータ復旧を目標とすること。	RPO:業務停止を伴う障害が発生した際、バックアップしたデータなどから情報システムをどの時点まで復旧するかを定める目標値。
A.1.3.2			RT0(目標復旧時間)※(業務停止時)	平常時、業務停止を伴う障害が発生した際には、1営業日以内でのシステム復旧を目標とすること。	RT0:業務停止を伴う障害(主にハードウェア・ソフトウェア故障)が発生した際、復旧するまでに要する目標時間。
A.1.3.3			RLO(目標復旧レベル)※(業務停止時)	平常時、業務停止を伴う障害が発生した際には、一部システム機能の復旧を実施すること。	RLO:業務停止を伴う障害が発生した際、どこまで復旧するかのレベル(特定システム機能すべてのシステム機能)の目標値。
A.1.4.1			システム再開目標(大規模災害時)	大規模災害時、情報システムに基大な被害が生じた場合、情報システムは、一ヶ月以内に再開することを目標とすること。	
A.1.5.1			稼働率	年間のシステム稼働率は、99.5%を目標とすること。	
A.3.1.1	災害対策	復旧方針	ディスクレイなどの外部記憶装置を物理的に複数台用意し、同一の構成で情報システムを再構築すること。		
A.3.2.1			保管場所分散	遠隔地へのデータ保管は、ベンダーによる提案事項とすること。	
A.3.2.2			保管方法	大規模災害時のデータ保管方法は、ベンダーによる提案事項とすること。	
B.1.1.1	性能・拡張性	業務処理量	ユーザ数	情報システムの利用者数は、不特定多数のユーザが利用できること。	
B.1.1.2			同時アクセス数	情報システムの同時アクセス数は、不特定多数のアクセス※有りとする。 ●●●●(人程度)。	同時アクセス数:ある時点で情報システムにアクセスしているユーザ数のこと。パッケージソフトやミドルウェアのライセンス価格に影響することがある。
B.1.1.3			データ量(項目・件数)	情報システムのデータ量は、ベンダーによる提案事項とすること。	利用期間中に想定される申請手続の数や添付データの内容・種類等を勘案し、必要と想定されるデータ量を見込むこと。
B.1.1.4			オンラインリクエスト件数※	情報システムのオンラインリクエスト件数は、仕様の対象としない。	オンラインリクエスト件数:単位時間ごとの業務処理件数。性能・拡張性を決めるための前提となる項目。
B.1.1.5			バッチ処理件数	情報システムの業務処理件数は、仕様の対象としない。	
B.1.2.1			ユーザ数増大率	情報システムのバッチ処理件数は、ベンダーによる提案事項とすること。	利用期間中に想定される申請手続の数や添付データの内容・種類等を勘案し、想定される増大率を見込むこと。

- ① **類型名：**  
対象となる類型名について記載（全13類型）
- ② **項目名：**  
各機能の分類（大中小）について記載
- ③ **メトリクス：**  
④要求目標を定量的に表現するための指標。非機能要求を合意する単位となる
- ④ **要求目標等：**  
システムに求められる要件（自治体側で数値を設定する項目や事業者からの提案事項も含む）
- ⑤ **補足説明等：**  
③および④の内容に関する補足説明  
※自治体担当者向け



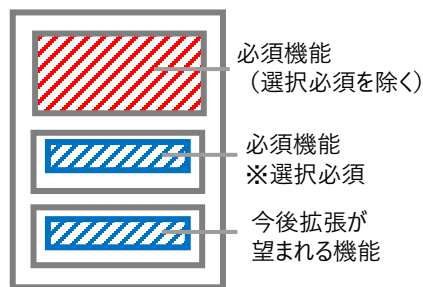
# 事業者とのコミュニケーションにおいては、各自治体がモデル仕様書を基に作成した要件一覧を基に、要件の対応可否の確認や、参考見積の取得を実施することを想定しています

カタログ

モデル仕様書

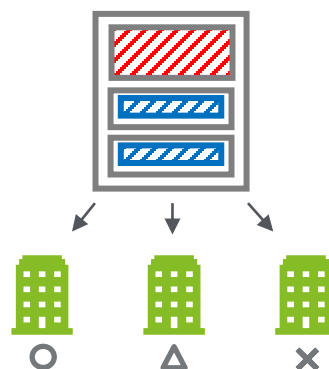
## 事業者とのコミュニケーション例

### ① 要件の仮設定



- 各自治体が、事業の目的や解決したい課題等を整理・分析しつつ、該当するタイプの**モデル仕様書を基に、調達したいシステム/サービスの「要件一覧」を仮で作成**する
- 例えば、「必須機能」（選択必須を除く）に加えて、「必須機能※選択必須」と「今後拡張が望まれる機能」のうち、自治体の実装したい機能を選択し要件一覧（仮）とする。

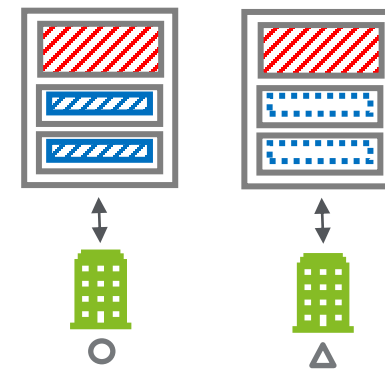
### ② 事業者への確認・見積取得



- ①で作成した要件一覧を、調達先の候補となる事業者に対して送付し、**各要件の対応可否の確認及び、参考見積の取得を実施**する
- 要件一覧の送付先は、価格等の妥当性を公平に評価する為にも、**複数の事業者に対して実施**する事が望ましい

事業者とのコミュニケーションが発生

### ③ 要件の精査



- ②で得た事業者からの回答を参考に、①で作成した**要件一覧を精査**する
- 例えば、要件一覧（仮）の機能を全て満たせる事業者が存在しなかった場合、要件一覧（仮）のうち、「必須機能※選択必須」や「今後拡張が望まれる機能」を削除する等が考えられる



# 各要件は計3つのパターンに分かれており、それぞれの特徴及びデジ田交付金における加点措置の有無が異なる為、モデル仕様書を活用する際は以下の留意点をご確認ください

カタログ

モデル仕様書

## 各要件のパターン分けと留意点

### 要件一覧（機能要件）

#### 必須機能

- 「推奨機能を有するサービス/システム」として最低限必要であると考えられる機能。また、これら必須機能を全て満たしたサービス/システムを調達する場合は、デジ田交付金の申請において加点措置がなされる。なお、加点措置にあたっては、必須要件の緩和や一部項目の削除等の下方修正は認められないが、要件が変わらない範囲での文言修正や体裁の加工は実施して問題ない
- サービスカタログの★付サービスは、必須機能を全て満たしていることを事務局にて確認済みであるが、★付サービス以外を調達する場合、各自治体で該当サービスが必須機能を全て満たしているかどうかを調達者が確認する必要あり

#### 必須機能 ※選択必須

- 自治体の環境や業務フロー等によって、必須機能か否かが分かれる機能であり、その選択は自治体が任意に選択が可能（不要である場合は、必須機能から削除しても問題ない）
- よって、デジ田交付金の加点措置にあたっては本機能（選択必須）の実装の有無は問わない
- サービスカタログの★付サービスは、必須機能に加え、選択必須も全て満たしていることを事務局にて確認済みであるが、★付サービス以外を調達する場合、各自治体で該当サービスが選択機能を満たしているかどうかを確認する必要あり

#### 今後拡張が 望まれる機能

- 2024/4以降で実装が望まれる機能であり、今後サービスの更なる高度化を目指す上で必要と考えられる機能
- サービスカタログの★付サービスであっても、事業者によっては本機能を満たさない場合もある。本機能の実装を求める場合、各自治体が調達時に個別で実装の有無を確認する必要がある
- 加点措置にあたっては本機能の実装の有無は問わない

## 【参考】各類型のモデル仕様書（要件一覧）に関する補足説明

カタログ

モデル仕様書

### 各サービス類型の要件一覧（機能要件）に関する補足（1/2）

サービス類型	機能分類体系			留意点等
	大項目	中項目	小項目	
AIオンデマンド交通システム	共通事項	サービス終了時・契約満了時等の対応	保有データの消去等	当該項目は「○※選択必須」としているが、高齢者交通助成や福祉バス乗車助成制度で利用し、それらの制度に関する情報を管理システムで保有する場合は、必須機能とすることが望ましい
母子健康手帳アプリ	資格管理	利用者側アカウント管理	アクセス制御	こどもの情報を母親だけでなく、父親等複数の関係者で情報共有できる前提であるため、プライバシー配慮等の観点からアクセス制御機能を記載している。また、DV対策の観点からも本機能の確認が望ましい
健康手帳アプリ	アプリ機能要件	－	－	本モデル仕様書は、健康情報や運動に関する情報を自己管理する機能と、取組促進の観点から、管理情報に応じたポイント付与や交換を行う機能をそれぞれ「○※選択必須」としているが、事業目的に応じて必要な機能を選択する
オンライン診療	－	－	－	サービスの運用に当たっては、厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針（平成30年3月）（令和5年3月一部改訂）」、同「「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に関するQ & A」を参照
保育所業務支援システム	共通事項	サービス提供環境 情報セキュリティ	－	本モデル仕様書により導入するサービスは、インターネット通信が必要である一方、児童の保育要録関係情報も取り扱うことから、ネットワークセキュリティやデータ管理、不正プログラム対策など、安全管理対策面について、機能の確認が望ましい
授業支援システム	共通事項	サービス提供環境 情報セキュリティ	－	システムの導入及び運用に当たっては、文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン(令和4年3月)」を参照

## 【参考】各類型のモデル仕様書（要件一覧）に関する補足説明

カタログ

モデル仕様書

### 各サービス類型の要件一覧（機能要件）に関する補足（2/2）

サービス類型	機能分類体系			留意点等
	大項目	中項目	小項目	
AIドリル	共通事項	サービス提供環境	機器環境	サービスはGIGAスクール構想下で整備された機器での活用を前提としているが、今後の機器更新や家庭学習で使用する機器などを考慮し、マルチデバイス対応として、対応するOS等を検討する必要がある
地域通貨・ポイント	共通事項	利用規約等	利用規約への同意	地域通貨・ポイントアプリの利用規約への同意は、利用者の権利と責任を明確にし、運営側と利用者間のトラブルを予防する観点から、特に重要と考える。不当利得の返還や免責事項等を分かりやすく示す必要があることに留意
オンライン申請	－	－	－	オンライン申請へのログイン時のマイナンバーカード認証は、「今後拡張が望まれる機能」としているが、オンライン申請時のマイナンバーカードの公的個人認証による署名付与は必須項目である点に留意
住民等向けポータル	利用者機能 管理側機能	コンテンツ機能	アプリ配信	利用者機能・管理側機能におけるコンテンツ機能の機能要件は「○※選択必須」としており、事業目的等に応じて必要な機能を選択する
電子図書館	管理者機能	資料登録	独自資料	サービス利用期間中に登録したい独自資料の量を想定（高画質な画像等の有無も考慮）し、希望するストレージ容量を記載する必要がある
避難所運営システム	災対本部・避難所運営者向け機能	マイナカード読み取りアプリ	避難所受付	マイナンバーカードによる本人確認で実行する公的個人認証サービスの認証では、民間認定事業者が提供するサービスのほか、国の「地方認証プラットフォーム（LG-WAN系）」と「マイキープラットフォーム（インターネット系）」が利用可能
公開型GIS	管理機能	公開管理	公開データ登録	公開データの登録については、登録データ数やデータを保有するシステム環境、更新頻度等に応じ、登録方法の要件を指定する必要がある

## よくある質問（1 / 2）

---

モデル仕様書の活用において、自治体からよくある質問は以下の通りです

**Q** モデル仕様書はどこに公開されているのか

**A** 以下のサイトにて公開しております。トップページ及び適合サービス詳細ページに掲載のモデル仕様書のリンクよりフォームに遷移の上、必要事項を記入後表示されるDL画面よりダウンロードが可能です

<https://digiden-service-catalog.digital.go.jp/>

**Q** モデル仕様書の回答欄はどのように使用すればよいか

**A** 回答欄（事業者名、サービス名、対応可否、備考）は、事業者が応札等する際に、モデル仕様書の対応状況を記入し、自治体を確認するなどの用途で活用いただくための欄になっています。必要に応じてご活用ください

**Q** モデル仕様書はサービス一つ一つに対応して作成されているのか

**A** モデル仕様書はサービス類型に対して1つ作成しており、事業者やサービスごとに作成しているものではありません

## よくある質問（2 / 2）

モデル仕様書の活用において、自治体からよくある質問は以下の通りです

- Q** 加点対象になるために、活用が必須となる資料はどれか？調達仕様書サンプル、要件一覧（機能要件）、要件一覧（非機能要件）の全てを活用することが必須か？
- A** 加点にあたって活用が必須となる資料は、（デジタル田園都市国家構想交付金募集開始時に公開していた）要件一覧（機能要件）のみが対象となります ※調達仕様書サンプルや非機能要件は対象外です。
- Q** 加点対象になるためには、モデル仕様書のすべての必須機能を満たす必要があるのか。選択必須は削除しても加点対象から外れることはないか
- A** 加点にあたっては、モデル仕様書の必須機能を漏れなく調達の仕様書に記載いただく必要があります。また、要件の緩和や一部項目の削除等の下方修正は認められません。ただし、選択必須については、自治体様で任意に削除が可能です
- Q** 「今後拡張が望まれる機能」の項目で不要である機能要件については削除しても加点対象から外れることはないか
- A** 「今後拡張が望まれる機能」については、自治体にて任意に削除が可能です

# 目次

- デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカタログの活用方法
- モデル仕様書（調達仕様書・要件一覧）の活用方法
- その他（モデル仕様書のダウンロード及び問い合わせ方法）

# モデル仕様書は各サービスの詳細ページからダウンロードが可能です。また、モデル仕様書に関するご意見も募集しています

カタログ

モデル仕様書

## モデル仕様書のダウンロード

デジタル実装の優良事例を支える  
サービス/システムのカタログ (第2版)

ホーム > サービス検索 > シティMobi

シティMobi

株式会社建設技術研究所

▼クリック

★モデル仕様書あり (AIオンデマンド交通システム)

サービスの詳細ページ

- ① サービス詳細ページの「★モデル仕様書あり」をクリック

## ご意見募集フォーム

お問合せ

デジタル実装の優良事例を支えるサービス/システムのカタログ及びモデル仕様書についてのご質問・お問い合わせは以下のフォームから受け付けております。特に自治体職員の皆様から、モデル仕様書について、実際の調達で活用される際にご意見をお寄せください。

お問合せフォーム

▲クリック

デジタル庁

Digital Agency

内閣府

国土交通省

デジタル庁

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

デジタル庁

Digital Agency

内閣府

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

国土交通省

サイトトップページ

- ① サイトトップページの最下部にある「お問い合わせフォーム」をクリック

モデル仕様書ダウンロードフォーム(AIオンデマンド交通システム)

デジタル庁ではデジタル庁(国土交通省)において最新事業が多いなどの観点で、デジタル実装を推進し、優良事例を収集し、自治体等に共有して活用を促進するため、自治体職員等からのご意見をお寄せください。特に自治体職員等から、モデル仕様書について、実際の調達で活用される際にご意見をお寄せください。

本フォームは、AIオンデマンド交通システムのモデル仕様書ダウンロードフォームです。

以下のフォームに必要項目をご入力いただき、ダウンロードが表示されます。

\* 必須

1. 所属団体を以下よりご選択ください。\*

地方公共団体

民間企業

その他

2. 所属団体名をご記入ください。\*

回答を入力してください

ダウンロードフォーム

- ② 該当するモデル仕様書のダウンロードフォームが表示される為、所属団体等の必要事項を入力し、「送信」ボタンをクリックすると、モデル仕様書のダウンロード画面が表示

お問い合わせフォーム

デジタル実装の優良事例を支えるサービス/システムのカタログ及びモデル仕様書についてのご質問・お問い合わせは以下のフォームから受け付けております。特に自治体職員の皆様から、モデル仕様書について、実際の調達で活用される際にご意見をお寄せください。

本フォームは、AIオンデマンド交通システムのモデル仕様書ダウンロードフォームです。

以下のフォームに必要項目をご入力いただき、お問い合わせが表示されます。

\* 必須

1. 所属団体を以下よりご選択ください。\*

地方公共団体

民間企業

その他

2. 所属団体名をご記入ください。\*

回答を入力してください

3. ご担当者の所属部署名をご記入ください。\*

回答を入力してください

問合せフォーム

- ② お問い合わせフォームが表示される為、所属団体等の必要事項及び、問い合わせ内容を入力したうえ、「送信」ボタンをクリックし完了  
※後日事務局より内容を確認のうえ、5営業日以内を目途に回答しますが、問い合わせの内容によっては回答のタイミングが前後する可能性があります